

－ 意 見 交 換 －

● コーディネーター

- ・ G A Pを中心に、意見交換を行いますので意見のある方は挙手をお願いします。

○ 地方自治体（山城）

- ・ 沖縄県では、G A Pを推進するため、農業改良普及センターを通して各地域の生産部会等で説明会を行っているが、農家からの感触は思わしくない。
- ・ パネリストの報告を聞いている中で、個別農家よりも農業法人化している方々へのG A P導入がやりやすいのかなと感じた。
- ・ 生協から、G A P導入に向けて取り組んでいるとの報告があったが、生協ではどのように農家に呼びかけているのか。また、どのように説明しているのか。

● コーディネーター

- ・ 生協の大城さんから回答をお願いします。

○ 消費者（大城京子 氏）

- ・ 生協がG A Pを推進している趣旨及び生協が進めるG A Pの内容について説明するため、ほぼ一日がかりで勉強会を開催している。

● コーディネーター

- ・ 図師さんから発言が有りましたらお願いします。

○ 生産者（図師賢児 氏）

- ・ 沖縄県の方から農業法人の方がG A Pに取り組み易いとの発言があったが、私としては逆だと思う。法人の従業員はあまりリスクを感じないが、個人経営だとすぐ経営にはね返ってくる。

● コーディネーター

- ・ 生協の大城さんからG A Pについて農林省担当者に質問があるようですのでお願いします。

○ 消費者（大城京子 氏）

- ・ ジーエーピーとギャップとの違いについても、誰が聞いても分かるよう統一してもらいたい。
- ・ J A S有機認証には、第三者の認証を受ける制度もあるが、なかには認証を受ける資金力のない農家もいる。今後G A Pを推進させていくなかで、認証についてどのように考えているのか。

○ 国（農林水産省）

- ・ 農林水産省としては、G A Pを認証することは考えていない。
G A Pの考え方自体を、まず全国へ普及させることが大切だと思っている。
- ・ 認証の取得については、農家個人の判断でグローバルギャップやJ G A Pを取得していただければ良い。

● コーディネーター

- ・生協の大城さんからまだお聞きしたいことがありますか。

○ 消費者（大城京子 氏）

- ・GAPは認証及び制度化した方が普及していくのではないかと。

○ 国（農林水産省）

- ・国（農林水産省）としては、GAPというものを普及定着させるのが先決で、認証については次のステップとして考えても良いのではないかと考えている。

● コーディネーター

- ・時間も大分超過してしまいました。これで、「安全な農産物を食卓へ（GAP手法に関する意見交換会）」を終了させていただきます。長時間有り難うございました。